

令和4年度 第1回 菊池市総合教育会議 (議事録)

○招集年月日 令和4年8月22日(月) 15時30分～

○招集場所 菊池市生涯学習センター「キクロス」 2階 大研修室

○議事日程

1 開会

2 市長挨拶

3 議事録署名者の指名

4 議題

(1) 菊池市生涯学習基本計画について

① 菊池市生涯学習基本計画の市民啓発について

② 自治公民館活動への支援について

③ キクロスカレッジの展望について

④ 学校と地域との連携について

(2) その他

5 閉会

○会議の公開、非公開又は一部非公開の別 公開

○出席委員及び欠席委員の氏名

[出席委員] 市長	江頭 実
教育長	音光寺 以章
教育長職務代理	生田 博隆
委員	森 智保美
委員	渡邊 和雄
委員	増永 幸一郎
委員	城 聡子

○出席職員

教育部	部長	村田 義喜
教育部	教育審議員	久保 敦嗣
教育部生涯学習課	課長	古庄 和彦
教育部社会体育課	課長	宮本 健
教育部	中央公民館長	吉川 良二
教育部	中央図書館長	安永 秀樹
教育部生涯学習課	課長補佐	川口 克明
○事務局 政策企画部	部長	後藤 啓太郎
政策企画部市長公室	室長	中川 敬三
政策企画部市長公室	係長	井島 貴志

○傍聴者 なし

○議事内容

<p>議 題</p> <p>【議長】</p> <p>【事務局】</p>	<p>(1) 菊池市生涯学習基本計画について</p> <p>議題 (1) 菊池市生涯学習基本計画について事務局より説明を求めます。</p> <p>本日は菊池市生涯学習基本計画を議題とし、1つ目が市民啓発について、2つ目が自治公民館活動への支援について、3つ目がキクロスカレッジの展望について、4つ目が学校と地域との連携についてとなります。まずはじめに、本計画の概要をご説明します。</p> <p>お手元の概要版をご覧ください。本計画は第1章から第5章で構成されています。</p> <p>第1章第1節 策定の趣旨としましては、テクノロジーの進化、人口減少、グローバル化、人生100年時代など、市民を取り巻く社会経済環境は急速かつ圧倒的な勢いで変化し続けています。こうした社会背景の中で、生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる生涯学習社会の実現を図り、新時代の豊かな生き方と持続可能な未来の菊池市を目指すことを目的に、本市のこれからの生涯学習の基本的な考え方や方向性を整理し策定したものです。</p> <p>第2章第1節に本市の生涯学習を取り巻く現状と課題、第2節に国及び県の生涯学習を取り巻く現状と課題を整理しています。特に、第1節2の地域コミュニティの希薄化と活動の停滞とありますが、地域コミュニティを支える組織が弱体化し、活動の停滞に繋がっていることから、地域コミュニティの再生に向けた取組が急務になっています。</p> <p>第2章の現状や課題を受けて、第3章に生涯学習推進のための基本方針を掲げています。第1節の1基本理念としまして「つどう、つなげる、つづける、つかう」の4つの「つ」でまとめ、生涯学習を通じた学びと活動の推進を図ります。次の2生涯学習の基本的な考え方・方向性として4点にまとめています。</p> <p>第2節生涯学習の基本目標の1つ目がつどう、子どもから大人まで楽しくつどう生涯学習のまち菊池市。菊池市民の学びのきっかけづくりとして学ぶ人の増加、学びのルートが多様化を推進します。2つ目がつなげる、人がつながり、人をつなげる生涯学習のまち菊池市。生涯学習センターKiCROSSを拠点化し市民協働推進体制の確立を図ります。3つ目がつづける、明日へと学びつづける生涯学習のまち菊池市。生涯学習施設等の整備やキクロスカレッジ等を創設します。4つ目がつかう、学んだものをつかって生かす生涯学習のまち菊池市。地域学校協働活動の推進、ICTの利活用促進、自治公民館の活性化を図ります。この4つの基本目標が相互に関係し、循環しながら人づくり、つながりづくり、地域づくりを進めてまいります。</p> <p>裏面をご覧ください。第4章具体的な施策の推進として、計画の進行管理と推進体制は、PDCAサイクルに基づく進捗管理を行い、菊池市生涯学習推進本部や菊池市社会教育委員会議を計画の推進体制としています。また、本計画に基づく関連施策については、庁内各課が連携して推進することとしています。</p>
--	---

	<p>全体的な構成としては、下の図に示すように基本目標群、基本施策群、具体的施策群の3つでまとめています。本日は、この具体的な施策について、各委員の皆様からご意見・ご提案をいただくものと考えております。最後に第5章施策の指標一覧を記載しております。</p> <p>以上、説明を終わります。よろしく申し上げます。</p>
【議長】	<p>それではただいま事務局から説明がありました4つのテーマについて、委員の皆様からご意見をいただきますが、会議の進行上、それぞれ概ね15分程度を目途としたいと思います。</p>
	<p>それではまず、1つ目の生涯学習基本計画の市民啓発に関してご意見ございませんか。</p> <p>概要版の説明にありましたとおり、生涯学習基本計画では、「生涯にわたり学び続けることのできる環境づくり」が急務であると、第1章に記載されています。生涯学習というと一般市民からすると少し近寄りがたいイメージを持っている人が多いと感じます。先程の概要版で「つどう」の基本目標の中にきっかけづくりとありましたが、学ぶことのきっかけや身近なところから啓発していく必要があると考えます。身近な自治公民館や地域ごとの集会等を活用して生涯学習について学ぶ機会を作っていたいただきたいと思います。</p>
【委員】	
【議長】	<p>ありがとうございます。この件に関して他に何かご意見ございますか。</p>
	<p>生涯学習の基本的な考え方として良くまとまった計画だと思います。作っただけで終わるのではなく、しっかりと市民へ知っていただくことが必要です。どうすれば市民の皆様へ理解して頂けるか私なりに考えたところ、どんなものを目指しているのかという1つ2つのテーマを絞って、広報紙の中で数回に分け掲載し、「こんな市を目指します。」「このような学習機会を提供していきます。」という形で市民へ啓発してはいかがでしょうか。</p> <p>もう一つは、この基本計画の冊子を市民が見たい時に直ぐに手に取る位置にあること。庁舎や公民館の入り口等、何か所か限定して計画の冊子又は概要版を置くのはどうでしょうか。</p> <p>その他の方法としては、社会教育の分野をはじめ、その他いろいろな集まりの席でこの計画の存在を紹介できないでしょうか。公民館主催講座の受講者は勿論のこと、受講していない人へも周知していく必要があると思いますので、工夫していただければありがたいと思います。</p>
【委員】	
【議長】	<p>ありがとうございます。お二人の委員から共通のテーマでご意見をいただきました。生涯学習をもっと分かりやすく、馴染みやすく、さらに発信力を増すためにどうしたら良いかとの意見でありました。その他、ご意見ございませんか。</p>

【委員】	<p>今回、私は生涯学習基本計画を知っているか周りの保護者に何人か聞いてみましたが、知っている方は殆どおられない状況でした。私達子育て世代には日々の生活で仕事、家事、子どもの学校行事、習い事、部活等に追われているので、なかなか関心を持つことは難しいと思われます。しかし、この素晴らしい計画を知ること菊池市に対する思いや、将来のことを少しでも考える機会になればと思います。そこで提案ですが、私達世代に効率よく伝えられる方法として、子ども達に貸与している1人1台のタブレットを活用して配信してはいかがでしょうか。その為にはもちろん、配信資料の動画やプレゼン資料が必要となりますので、簡単なことではないと思いますが、分かりやすくまとめられた内容を保護者や子ども達に配信することで多くの方に知って頂けるのではないかと思います。</p>
【議長】	<p>ありがとうございました。さらに具体的に踏み込んだご提案でございました。それでは折角ですので、お一人ずつご意見をいただきたいと思います。</p>
【委員】	<p>皆さんが話されたように、生涯学習基本計画の存在について多くの人に知ってもらい、地域で活用されることが重要になりますので、PR活動を工夫して充実させていただきたいと思います。</p>
【委員】	<p>私も皆さんの意見と同じように、やはり市民の生涯学習に対する認識は低いと感じています。しかし、年代によっては関心が高い年代もあり、私も退職してから改めて学習したいと思いましたので、色々な会合の機会があれば、本計画の趣旨や内容などの情報を提供することにより、市民の生涯学習への理解と興味関心が高まっていくと思います。</p>
【委員】	<p>委員の皆様から具体的なご意見をいただき、大変参考になりました。生涯学習は皆さんにとって価値あるものだということを全面的に出していくこと。魅力が無いと参加しようと思っても参加できないこともあります。まずは、市民の皆様へ知っていただく、そして公民館講座等に参加された方の声も取り入れながら、推進していきたいと思います。</p>
【議長】	<p>それでは委員の皆様の様々のご意見を頂戴し、皆さんの認識は共通していたと思います。もっと分かり易く、身近に興味を引くようにというご意見でした。その中で子どもに渡しているタブレットを活用するなど、具体的な手段についてのご提案もありました。タブレットも良いと思いますが、スマートフォンも普及していますので、SNS等の活用も有効ではないかと感じました。</p> <p>市長部局としても広報紙へ掲載するなど、お互いに協力しながら市民への周知を図っていきたく考えております。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございました。1 生涯学習基本計画の市民啓発に関しては、これでよろしいでしょうか。</p> <p>次に2 自治公民館活動への支援に関して、ご意見をお伺いしたいと思います。</p>

	<p>どなたかご意見ございますか。</p> <p>【委員】</p> <p>自治公民館は地域の方が一番拠り所としているところだと思います。これまで様々な会合が行われてきましたが、コロナ禍以降は、各地区の行事やイベントが減少・中止になり、地域住民同士の触れ合いや繋がりが本当に薄くなっているなと危惧しています。これから先、集まらなければそれでいいと地域の人が思いだしたら、本当に繋がりがなくなってくると思います。</p> <p>こういう時期だからこそ、自治公民館活動はとて大切ではないかなと思っています。</p> <p>ただ、皆さんがそれぞれにやりたいことがあっても、引っ張っていくリーダーがいないと自分たちだけでは行えないため、今後は各地区の公民館長さんや区長さん、それからキクロスカレッジのマイスターなどがリーダーとなり、公民館を核として活動ができれば良いと思います。</p> <p>さらに、幅広い年代が参加しやすいことが重要ですので、健康や防災、スポーツ活動など、出前講座のようなもので世代間交流ができるものが良いと思います。まずは公民館で少しずつ広げて、集まりを増やしていくことが大事だと思っています。</p> <p>さらに、公民館施設も古くなっているところもありますので、お金をかけて改修していただければ、若い人たちも自分達のちょっとしたサークルの集まりを気軽にできるような場づくりができるのではないかなと思っています。</p>
	<p>【議長】</p> <p>ありがとうございます。今のご意見は、コロナの時期にきずなづくりを進めるため、自治公民館機能が重要であり、今後の取組に期待するとのことでした。</p> <p>先ほどおっしゃった健康づくりのところは非常に切り口としては良いと思います。今、そのリーダーを作り出すために、キクロスカレッジの3つの構想の1つにありますので、来年以降、その修了者の活躍に期待しています。</p> <p>その他何かございますか。</p>
	<p>【委員】</p> <p>今、委員がおっしゃったことと似ていますが、僕が小さいころは、公民館で卓球やバレーボールなどをして、よく遊んでいました。キクロスカレッジや地域活動に関連してくるかもしれませんが、まず僕が思ったのは、市の人材バンク的なものがあっていいのではと思います。多少はあるように聞いてはいますが、郷土の歴史を知っている人や何か専門的なことを知っている人、スポーツを教える人など、様々な市民がおられると思います。私は旭志出身ですが、地域の中にこのスポーツはこの人が教えますよ、この公民館ではこのスポーツやこの歴史文化が学べますよという選択肢があっても良いような気がします。</p> <p>それが地域内でのコミュニケーションに繋がり、地域の活性化が図られるのではと思いました。</p>
	<p>【議長】</p> <p>ありがとうございました。その他何か関連でも結構ですが、何かございますか。</p>

<p>【委員】</p>	<p>3つ目と関連しますけれども、自治公民館の活動を支援するという中で、現在は出前講座が行われていますが、多くが一方向的な行政の説明になってしまっていると思います。</p> <p>住民や市民の立場からすると、色々な講師を呼んで、出前講座と一緒に論議しながら勉強するという機会があっても良いと思います。その際に3つ目のキクロスカレッジの修了生を出前講座に数多く派遣していただきたい。</p> <p>地域からできるだけ手を挙げてもらい、その人に来てもらい話をいただいて、その後は地域の中で論議する。そういう活動にしていくと、より地域の結びつきが強くなっていくのではないかと思います。是非、キクロスカレッジの充実をよろしくお願いします。</p>
<p>【議長】</p>	<p>事務局から何かありますか。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>委員からご提案がありました通り、キクロスカレッジのコース設定につきましては、庁内各課が把握している地域の課題であったり、今後要請すべき人材、そういったことについて、色々と要望を出していただいて、その中から優先順位の高いものからコース設定をするということにしております。様々なジャンルのマイスターを養成しますので、ご要望があればその派遣は可能になると考えております。</p>
<p>【議長】</p>	<p>補足しますと、まさに今おっしゃったことを目的として、キクロスカレッジをつくって、リーダーを養成したら今度は地域に還元して、その人が地域をつくって、その地域がまた人をつくっていく、そういう循環を早くつくり出したいと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは議長から離れた意見、感想を述べさせていただくと、自治公民館は文字どおり、自治という言葉が付いている通り、地域の人を中心になって、主体的に運営していくことが理想でありますけれども、行政としてはそのためのきっかけとして、講師の派遣などを全力で進めていきたいと思います。</p> <p>一方で、何もこの勉強ばかりではないと私は思います。ある人と話をしている、ちょっと内容は忘れてしまいましたが、昔はこういうことがあったとか、この行事は消えてしまったなど、はじめて知って驚くこともありまして、こんな話をするだけでも地域を見直すということで、色々な事に繋がっていく気がしました。</p> <p>先般も七城のある集落の話ですが、昔は青年団等が「にわか」や「劇」などを行われており、お年寄りも楽しんで、地域全体で凄くまとまっていたようです。人口が減る中で徐々に寂れていった訳ですが、このような伝統はとても良いなと感じますし、公民館の一つの核として今後取り組めれば良いなと思います。</p> <p>また、それが見守りにも繋がっていきますし、お年寄りへの声かけなども併せて、自治公民館活動を広く捉えていく必要があると思いました。</p>

【委員】	<p>市長がおっしゃったように、昔は子ども会でよく自治公民館において祭りの出し物の練習や伝統芸能の練習などを先輩からの指導を受けながら行ってきましたが、今は子ども会活動がだいぶ廃れてしまっている感じがします。</p> <p>そのような拠点として、やはり自治公民館の役割は大きく、もう一度、地域の中で指導者を発掘しながら、よき伝統を継承することも考えていかなければならないと思っています。</p>
【議長】	<p>ありがとうございました。自治公民館活動は、まだまだ可能性としては色々なことがあると思います。最終目標は自立的・自走的に進むことが一番長続きに繋がるとお思いますので、そのトラックに乗るまではとにかく全力で、我々も支援していきたいとお思います。その他このテーマに関して何かございますか。</p> <p>無ければ、三つ目のキクロスカレッジの展望に関してご意見を伺いたいとお思います。</p>
【委員】	<p>先ほどからご意見が出ていまして、大体似たようなことにはなりますが、このキクロスカレッジは、教育委員会で要綱等の議論が出たときに、これは良い制度だなとお思いました。</p> <p>このキクロスカレッジが地域づくりのリーダー育成という意味で、私は大いに期待するところです。しかし、キクロスカレッジの修了生だけでは、地域のリーダーは十分ではないとお思います。</p> <p>先ほどの自治公民館活動のリーダーにしても、キクロスカレッジだけではなく、既に様々なノウハウを持った人が身近にもおられるとお思います。そういう人をしっかりと拾い上げていくことが、大事であるとお思います。</p> <p>このリーダー育成というキクロスカレッジを通して、生涯学習マイスターの認証登録というのが次に出てきて、さらにそれを、地域につなげるまちづくり支援ネットというこの三つの連携が生涯学習、地域づくりにとって非常に大事だとお思いますし、個人的には非常に期待しているところです。</p> <p>ですから、先ほどの自治公民館活動にしても、この枠組みをいかに地域の隅々まで広げていくか、浸透させていくかが非常に重要になってくると感じています。</p>
【議長】	<p>ありがとうございました。その他にどなたかございますか。</p>
【委員】	<p>先程も話しましたので、重複する部分は省きたいとおと思いますが、キクロスカレッジは一方的ではなく、共に講座を受けた人どうしが高め合い、その人が地域へお返しというか、地域の核になっていくとお思います。そういう意味では非常に教育委員としては期待数が多い事業だとおと思っています。</p> <p>是非、長いスパンでしっかり行っていけるように、運営をよろしく願いいたします。</p>

<p>【議長】</p>	<p>ありがとうございました。お二人の委員から激励の言葉だったと思います。</p> <p>これは今後の検討課題として、考えておいていただきたいことなのですが、今度 TSMC が進出してくることで、工場誘致、住宅政策、道路交通網、学校教育等の課題がでてきます。</p> <p>台湾の方もこちらにいらっしゃるとのこと、1,700 人のうちの最初の 300 人ぐらいは台湾の方で、かつ幹部クラスで英語をかなり話せるとのこと。</p> <p>そのような人達にとっては、週末に癒しを求める傾向があり、一番近くて良い温泉があって菊池溪谷もある、菊池市はそういう意味で、癒してもてなす格好の場になります。</p> <p>そのため、市民も「おもてなし」ぐらいは英語で対応できるよう、例えば市民講座を新設するなど、そのようなニーズもあろうかと思えます。</p> <p>現時点で市長部局としては、このように考えていますので、今後のテーマとして考えていただければと思います。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>ありがとうございます。一つの方向性を出していただきましたけれども、実は令和 4 年度、大人チャレンジという講座で英会話教室を始めております。これは市民の方の中に外国にしばらくおられて帰ってきたけれども、どうしても英語を学びたいという方が多かったため始めた教室です。</p> <p>確か今年は 20 名の募集に対し、募集枠が全て埋まったようです。中にはレベルに差がありますけれども、そのような意思を持った方がたくさんおられます。</p> <p>これについては、次年度以降も主催講座の中で続けていこうと思っています。</p>
<p>【議長】</p>	<p>ありがとうございました。キクロスカレッジについては、本年度は順調なのでしょう。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>先ほど教育委員会議の中でご報告申し上げましたが、8月で基礎講座が終了いたしました。9月から専門講座に入っております。</p>
<p>【議長】</p>	<p>はい、わかりました。他、何かございますか。</p> <p>それでは、4つ目に移ります。学校と地域との連携に関してということでご意見を伺いたいと思います。どなたかございませんか。</p>
<p>【委員】</p>	<p>地域には学校への関心度が非常に高い方が数多くいらっしゃいます。私も学校に勤めていた時、意外なところで助けていただいたこともあります。しかし、自ら言い出すことは難しいので、その方々の後押しが必要だと思えます。既に、地域学校協働活動の支援の方がネットワークを作って活動されていますけれども、その活動をさらに充実させて、色々な形で学校活動に参画してもらおう。そうして、目標となる地域の人的つながりが広がっていくのではないかと思います。旭志中学校でも地域の人が入って活動する取組を行っておりますが、子ども達と一緒に活動することは、学校と地域との連携を深め、ひいては生涯学習の推進に繋がっ</p>

	<p>ていくのではと思っています。</p>
【議長】	<p>ありがとうございました。そうですね、確かに旭志はホテル育成が盛んな地域ですし、その取組は環境教育に繋がっていますね。その他に例えばどのような取組を行っていけば良いでしょうか。</p>
【委員】	<p>若い親御さん達があまり知らないような子どもの玩具づくりやクラフト、竹馬づくり、凧作りなど、話を聞いてみると子ども達に教えたいという気持ちを持っている方は非常に多いと思います。</p>
【議長】	<p>わかりました。今の子ども達は肥後守を持ったこともないでしょうね。昔の伝統を引き継ぐということも含め、是非、そのような人達を活用していきたいですね。その他何かございますか。</p>
【委員】	<p>現在どれだけ行われているかは、私も正確に把握しておりませんが、地域で学習機会の場を与えることは非常に大事だと思います。地域によっては白龍まつりなどが行われていますね。</p> <p>私は旭志中学校の出身ですが小さい頃は、中学校の運動場を借りて地域のお年寄りをはじめ、みんなが集まって盆踊りなどを行っていたと思います。その時期になると都会から帰ってくるようなこともあり、菊池の自然や温泉などの良さを再認識してもらい、帰ってくるきっかけにつながると思います。大きいイベントだけでなく、七城、旭志、泗水地域でも小さなイベントを行っていけば、地域の盛り上がりにつながると思います。</p>
【議長】	<p>ありがとうございます。地域活性化のあり方で学校を活用してはどうかという意見でございました。大変良い意見をいただきました。</p> <p>特に盆踊りは良いですね。今週末に市民広場で市民提案の盆踊りが企画されているようです。このような動きに対しては私も応援していきたいと思っています。</p> <p>今回、その企画を進める上で菊池に盆踊りの音楽が4つくらいあるのが分かって、菊池女子高の生徒と一緒に行われるようで、非常に市の活性化につながる良い取組だと思います。</p> <p>風景としても良いし、観光客が見ても楽しくなると思います。その中にホテル音頭なども取り入れてもおもしろいと思います。</p> <p>大変良い提案だったと思いますし、これは市長部局も含め、市の観光にも繋がる可能性があると思います。事務局で検討をお願いします。その他、何かございませんか。</p>
【委員】	<p>先程、委員がおっしゃった子ども会のことについてです。一番身近で地域の方と接することができるのは、私は子ども会なのかなと思っています。</p>

	<p>私達の時代は、イベントや地域の行事等で自然と地域の方々の顔も覚えて、お互いに顔見知りになっていましたが、今は子ども会がある地区と無い地区もありますし、子ども会があっても入らないご家庭も増えています。そして、子ども会に入っても、行事等が少なくなりすぎて、同じ子ども会でも顔を知らないこともあります。コロナ禍のため、仕方がないと思いますが、ここ2、3年はラジオ体操も無くなって、夏休みの間だけでも会える場だったのですが、それさえも無くなっているのです、本当に地域の方と接する機会が無くなっています。</p> <p>また、子どもが少なくなっているのです、子ども主体のお祭りや地域の祭りが本当に簡素化されて、本当に無くなりそうな状況なので、行政区を超えて子ども会を統合することも考えていかなければならないと感じています。</p> <p>子ども会の中で学校の決め事をしますが、子どもが少なくなったため、同じ人が役員を6年間しなければなりません。本来は交代で行っていくべきですが、子どもが少ない地区は家庭や学校の先生方も苦勞されているようですので、子どもの少ない地区は真剣に考えていく必要があるのではと思いました。</p>
【議長】	<p>ありがとうございました。子ども会の現状について、事務局でわかりますか。</p>
【事務局】	<p>旭志地区においては、くらだけ子ども会と言いまして、各行政区の子ども会を束ねられる組織があります。市全体では、菊池市子ども会育成協議会があります。</p> <p>しかし、これに加入されておられる子ども会が泗水地区と旭志地区に限られています。菊池地区と七城地区にもそれぞれの行政区に子ども会はありますが、全体には参加されていない状況です。それから、確かに子ども会が無い行政区も増えてきているということで伺っております。</p>
【議長】	<p>質問ですが、旭志地区は全体もあり、各区もあるのですか。</p>
【事務局】	<p>はい。そのとおりで全体も各区もあります。</p>
【議長】	<p>質問も含めて、ご意見はございませんか。</p>
【委員】	<p>子ども会については、地域で活動はするけれども登録していない地域が多くあります。登録すると県子ども会連合会に負担金や役員選出等もあるので、自分達だけで活動する地域があります。</p> <p>少し話は変わりますが、元 PTA の役員の方の中には、学校で協力することがあったら、いつでも声をかけてくれと言っていただく方がたくさんおられます。現在の PTA 役員に遠慮されて、自分では言い出しにくいようですが、いざ声をかけてみると、快く受けていただけます。</p> <p>このような方々を何かの形で組織化することができれば、運営協議会の役員ばかりだけでなく、広い範囲で協力して連携することができるのではと思います。</p>

【議長】	<p>ありがとうございました。大変良い着目点であると感じました。</p> <p>いわゆる PTA の OB 群に学校へ入っていただく、そのためには現役世代の PTA に認知されるように位置付ければ、実現できるのではと思います。</p> <p>これは事務局の方で、しっかりと検討いただくようお願いします。また、その方々は情報連絡の渡し役としてもすごく良いような気がします。自分事としては是非、事務局で考えてください。お願いします。その他何かございませんか。</p> <p>それでは今日は限られた時間でしたけども、4つのテーマに沿って、大変意義のあるご意見を頂戴しました。本当にありがとうございました。もし、何かあれば後日教育委員会へ申し出ていただいて、何か必要なものがあれば市長部局にフィードバックをお願いしたいと思います。</p> <p>それでは議題の1番目の生涯学習基本計画に関する4つテーマについては、終了となります。議題の2番目のその他ということで、何か委員の方からございますか。</p>
【委員】	<p>先日の8月5日に子ども議会を開催しました。子ども達も熱心に考えて市へ色々な提案をしまして、各課からも真剣に論議して子ども達へ答弁しました。委員の方も何名かご参加いただきましたので、その感想をお聞かせいただければと思います。</p>
【委員】	<p>例年は、傍聴席から聞く形だったのですが、今年は、執行部の席から参加することになり、ちょっと緊張いたしました。</p> <p>今、教育長がおっしゃいましたように、子供たちの質問が自分たちの目線で質問を考えているという印象でした。それから、質問のときに限らず、その後も何か関わっていきたい、自分たちでできることはないかというような姿勢が、質問の中、或いは質問の後の発言の中で見て取れたような気がします。</p> <p>ですから、この子ども議会の質問を通して、子供たちも市の行政に対して関心が高まったのではないかなという印象を持ちました。他の機会でもこのような場を設けてもらおうと、もっと他の子ども達にも広がるのではないかと思いました。</p>
【委員】	<p>ここ数年、子ども議会に参加させていただいていますが、最初は自分の学校の事が多かったのですが、年々、菊池市全体の事を見ていて視野がとても広がってきていると感じています。</p> <p>子ども達のそういう視野が広がっているのも、各学校の総合的な学習やSDGsの学習など、地域を見て、地域の事を考えて学習をしている影響があるのかなと思っています。とても素晴らしい意見だなと思って聞いていました。</p> <p>子ども達が学習していることが子ども議会に反映して、今後、自分達が中学校を卒業しても菊池市を見ていくような心が育っているなと感じ、子ども議会もだんだん良くなってきていると思いました。</p>

<p>【委員】</p>	<p>子ども議会は他の市にいた時も何回か見させていただきましたが、委員が言われたように、将来を見据えたグローバルな考え方で、すごく頭が良いなと思いつながらせていただきました。</p> <p>最初の提案も SDGs 未来都市に選定されたから、フェスティバルをやるとか私も他市で議員を経験していたので、市長へ質問を行ったことはありますが、大人ではなかなか発想できない、子ども達ならではの柔軟な意見であったと思います。</p> <p>今後も続けていただいて、全体的に市を盛り上げるために、子供たちの意見を取り入れながら、頑張っていただければいいと思いますのでよろしくお願ひします。</p>
<p>【議長】</p>	<p>その他ということで何かございますか。無いようでございますが、事務局から何かありますか。</p> <p>それでは今日予定しておりました、本年度の第1回総合教育会議につきましては、議事をすべて終了しました。大変実りのある議論ができたと思います。皆様に感謝を申し上げまして、本会を終了させていただきます。</p>

菊池市総合教育会議運営要綱第12条によりここに署名する。

委員 増永幸一郎